

美しい白山 白山国立公園の魅力

●白山国立公園とは

富士山、立山と並ぶ日本三名山のひとつ白山。最高峰の御前峰2,702mを中心に周辺の山々を総称して白山と呼んでいます。1962（昭和37）年に国立公園に指定された白山国立公園は、岐阜・富山・石川・福井の4県7市町村にまたがっており、日本最西端の高山帯でもあります。



白山



クロユリ



ブナ林



ニホンザル



イヌワシ



ハクサンコザクラ

●白山の魅力① 豊かな自然

ブナを主体とした広大な広葉樹林にはツキノワグマ、ニホンカモシカ、イヌワシといった野生鳥獣が生息しています。さらにハクサンフウロやクロユリなど約250種もの高山植物が生育し、「ハクサン」とつく名前の植物が約20種あります。また、自然性の高さからユネスコの生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）に指定されています。

●白山の魅力② 多様な文化

717年に泰澄大師によって開山された白山。御前峰には全国三千余社ある白山神社の奥宮が置かれ、信仰の山として古くから崇拝されてきました。また、白山麓に住む人々はお酒や堅豆腐を作ったり、湧き出る温泉に浸かったりと、白山の豊かな恩恵を受けてきました。



白山奥宮 祈禱殿



御前峰よりのご来光



白山奥宮



堅豆腐



温泉



御前峰から見た大汝峰(左)と剣ヶ峰(右)



翠ヶ池



黒ボコ岩

●白山の魅力③ 火山景観

御前峰、大汝峰、剣ヶ峰の三峰が山頂部を形成し、翠ヶ池などの火山湖や、火山碎屑物や溶岩でできた室堂平などの平坦地とあいまって、優美な火山風景が広がります。山体の大部分は古い時代の地層や岩石でできており、その上を火山噴出物が覆い白山火山を形成しています。砂防新道の途中にある「黒ボコ岩」は噴火により山頂から運ばれたものです。